

檢問所再開へ最終調整

関係国や国連
ガザへの物資搬入で

【エルサレム共同】イスラエル軍とイスラム組織ハマスの戦闘が続くパレスチナ自治区ガザへの人道物資搬入に向け、関係国や国連は20日、ガザとエジプトの境界にあるラファ検問所を近く再開する方向で最終調整した。イスラエルのガラント国防相は19日、ガザ境界の軍部隊に侵攻への準備を命じた。

英BBC放送電子版は20

る

国連のグテレス事務総長

メディアは20～30台のトラックが支援物資を運ぶ見通

とを搬入の条件としている。

20日、レバノン国境に近い

書は5500人以上となつた。

したと報じた

支援物資は水や食料など、燃料は含まれていないとみられる。イスラエルは物資がハマスに渡らないこ

で21人が死亡した

また軍は19日、同国北部でレバノンから約20発の砲撃を受けたと発表、ハマスのレバノン組織が発射を認めた。

20日、レバノン国境に近い

書は5500人以上となつた。

イスラエル軍はガザ周辺に部隊を集結させ、地上侵攻の構えを維持。19日夜もガザへの空爆を続けた。パレスチナ通信によると、数

北部キリヤトイシモナの住民に退避を命じた。ヨルダン川西岸ではイスラエル治安部隊との衝突でパレスチナ人13人が死亡した。

対し、即時停戦との引き換えとして、拘束する人質数人の解放を提案したが、イスラエルは応じていないと報じた。イスラエルは人質を203人以上とみてい

は20日、エジプト側のラフア検問所前を訪れ、記者団に対し、物資搬入へ「全当事者と調整している」と説明。検問所再開の時期には触れなかつた。イスラエル